

平成21年7月15日  
運航労務課

## 内航船における自動操舵装置適正使用の促進へ向けた

### ガイドラインの概要

#### 1. ガイドラインの目的

内航船の操船者へ自動操舵装置の基本性能に関する情報を提供し、手動操舵から自動操舵への切換え判断や自動操舵装置使用上の留意事項を示すことによって、機器に過信することなく、適正な使用を促進する。

#### 2. 内容

##### ① 自動操舵装置の基本性能の明示

一般的な自動操舵装置は船首方位だけを制御するものであることを明示し、基本的な機能である舵角を制限する機能（舵角リミッタ）の適正な設定について説明した。

##### ② 内航船（278隻）に対する手動・自動操舵の長所・短所のアンケート調査の実施結果

内航船において自動操舵装置の使用が一般的であることを明らかにし、操船者が自動操舵の短所と感じている「大角度の変針が難しい」、「針路が安定しない」という点を中心に本ガイドラインをまとめることとした。

##### ③ 自動操舵への切換への判断基準を例示（ガイドライン揭示用参照）

##### ④ 自動操舵装置使用に当たっての留意事項を提供（ガイドライン揭示用参照）

#### 3. ガイドラインの普及

内航事業者団体、船員教育機関を通じて、現場の操船者や船員を目指す学生へ周知していくと共に、安全マネジメントを通じて運航事業者へも周知し、広く本ガイドラインの普及を図る。